

## 2025年 第22週（5月26日～6月1日）の感染症発生動向調査情報

### <今週の内容>

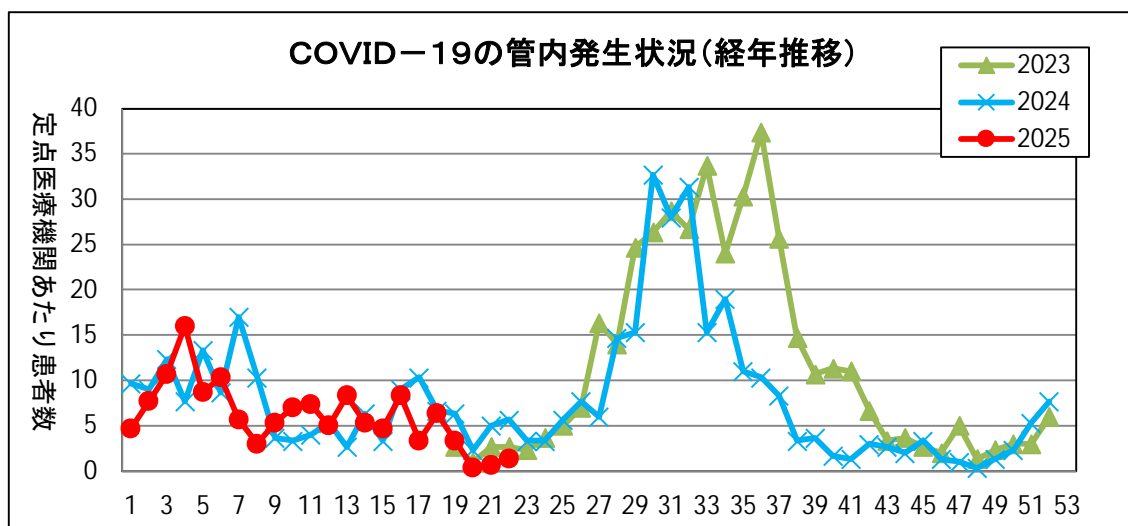
- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）
- 3 県内の感染症発生状況（麻疹、百日咳）
- 4 6月はエイズ予防月間です

### 1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週1.33人（先週0.67人）で先週から増加し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週0.77人（先週0.71人）で、先週から増加しました。地域別では、加古川保健所管内が1.75人と最も多く、宝塚保健所管内1.60人、赤穂保健所及び当所管内1.33人となっています。

また、県内の社会福祉施設においては、今週2件（先週1件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

### <感染症に関する情報>

#### ◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

#### ◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

#### ◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[コロナウイルス感染症](#)

## 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

（１）管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第２２週は、レジオネラ症及び百日咳が各１人報告されました。

（２）定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

（２０２５年２２週）※定当：定点当たり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
3	1	-	-	2	1	3	1.5	14	7	-	-	-	-	2	1	4	2	4	1.33

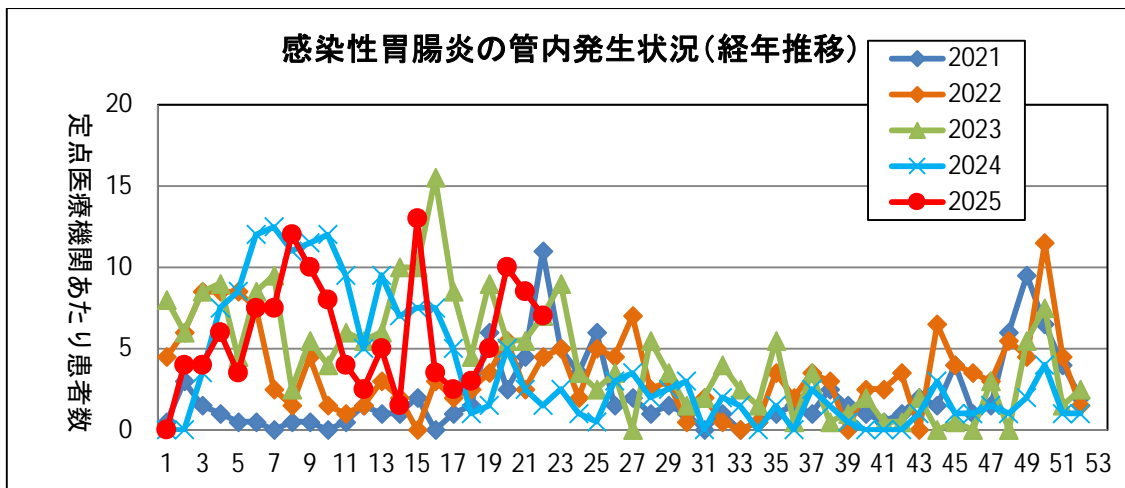
ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎（ロタウイルス）		急性呼吸器感染症	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
3	1.5	-	-	...	...	...	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	174	58

※2025年4月7日から急性呼吸器感染症が追加になりました。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

### ◆厚生労働省ホームページ [急性呼吸器感染症 \(ARI\)](#)

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が7.00人で、先週（8.50人）から減少し、兵庫県でも8.05人で、先週（8.79人）から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

### ◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎（ノロウイルス等）について](#)

### ◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

[感染性胃腸炎](#)

### 3 県内の感染症発生状況（百日咳、麻しん）

#### （1）百日咳

県内では、今週 109 人（先週 139 人）の百日咳の報告があり、今年の累積患者数は 1,304 人となりました。当所管内でも 1 人の報告があり、今年の累積患者数は 9 人となっています。県内で今年発生した推定感染経路として、家族内感染が 720 人、学校内流行が 226 人報告されています。百日咳は主に患者の咳やくしゃみなどにより、しぶきに含まれる細菌を吸い込むことによって感染（飛沫感染）し、7～10 日の潜伏期間を経て風邪症状がみられ、次第に咳の回数が増えて強くなります（約 2 週間）。その後、短い咳が連続的に起こり、咳の最後に大きく息を吸い込み、痰を出しておさまるという症状を繰り返します（約 2～3 週間）。ワクチン未接種の乳幼児が感染すると、嘔吐や無呼吸を伴い、重篤化しやすいので注意が必要です。また、乳児期にワクチン接種を受けていても、終生免疫は得られないので、成長後に感染することがあります。予防として、咳エチケットなどの一般的な感染対策が有効となります。

#### <感染症に関する情報>

#### ◆兵庫県ホームページ

#### [百日咳について](#)

#### ◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

#### [百日咳](#)

#### [百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン（第三版）](#)

#### （2）麻しん

5 月 23 日、加古川保健所管内で 1 名の麻しん患者の発生があり、今年の県内の累積患者数は 12 人となりました。麻しんウイルスは極めて感染力が強く、免疫を持っていない状態で感染するとほぼ 100% 発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。感染すると約 10～12 日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱が 2～4 日続き、咳、鼻水といった風のような症状が出ます。その後、少し体温が下がり、再び高熱（多くは 39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。発疹出現後 3～4 日間で解熱し症状は軽快、合併症のない限り 7～10 日後には症状が回復します。麻しん患者と接触したおそれのある方で、21 日以内に発熱、風邪の症状、発疹等の症状があった場合は、事前に医療機関に「麻しんの可能性があること」を連絡の上、マスクを着用し受診してください。また、医療機関の皆様におかれましては、麻しんの疑い例を診察した場合には、最寄りの健康福祉事務所（保健所）まで連絡をお願いします。

#### <感染症に関する情報>

#### ◆兵庫県ホームページ

#### [麻しん（はしか）患者の発生について](#)

#### [麻しん（はしか）について](#)

#### ◆厚生労働省ホームページ

#### [麻しんについて](#)

#### ◆国立健康危機管理研究機構ホームページ

#### [麻しん](#)

#### 4 6月はエイズ予防月間です

兵庫県の2024年HIV感染者の新規報告数は16件、エイズ患者の新規報告数は11件、合わせて27件であり、前年(20件)より増加しています。日本においては、2023年の新規HIV感染者・エイズ患者報告数が960件で、7年ぶりに増加に転じました。また、HIVに感染していたことを知らずに、エイズを発症して初めて気づいたというケースが、新規HIV感染者・エイズ患者全体のうち約3割を占めています。

エイズの治療方法は進歩しています。HIVに感染しても、感染を早く知り、早期に治療を始め、継続することにより、エイズの発症を防いで健康的な社会生活を送ることができるようになっていきます。また、適切な治療を受け、血液中のウイルス量を抑え続けることができれば、性行為によって他者に感染することはないことがわかっています。早期発見と適切な治療がとても大切です。

- ・HIVに感染しているかどうかを調べるにはHIV検査を受けるしかありません。
- ・HIV感染初期には、検査ではわからない時期があります。感染の有無をはっきり確認したい時は、感染の可能性のある機会から3ヶ月以上たってから検査を受けてください。
- ・朝来健康福祉事務所では受診者のプライバシーに十分配慮した無料・匿名検査を実施し、HIV感染症・エイズや性感染症に関する相談も行っています。感染の心配が少しでもあればご相談ください。

〈朝来健康福祉事務所におけるエイズ検査(HIV抗体検査)〉

日時：毎月第1・3木曜日 13:30~14:30(予約制)

予約・相談：TEL 079-672-0555

＜感染症に関する情報＞

◆[兵庫県ホームページ](#)

[HIV・エイズに関する情報](#)

◆[朝来健康福祉事務所ホームページ](#)

[エイズ検査\(HIV抗体検査\)を受けましょう](#)

◆[\(公財\)エイズ予防財団ホームページ](#)

[エイズ予防情報ネット API-Net](#)